

主 直 日 誌

2月12日（木）天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

一本釣りの竿の使い方、活餌管理

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

今日、活餌管理と一本釣りの竿の使い方について勉強しました。2月9日に餌積みをし、今日の朝、初の活餌管理をしました。朝は何もわからない状態だったので、活餌管理をやったことのある同じ日直班の人に活餌管理の仕事内容を聞き、カツオを釣る餌となるマイワシとカタクチイワシに餌をあげる、イワシの入っている魚艙の枠を布切れで拭く、死んだイワシをカゴに集め測りで計測し記録する、ということ事前に学び、カゴとおもりの重さが均等になるよう調節し計測しました。午後の活餌管理では、午前学んだことを思い出し、魚艙を拭き、計測した重さを紙に記録し船員さんに報告しました。活餌管理はまだ続くので、仕事内容を早く覚えようと思います。また、午後の課業では一本釣りで使う竿の使い方について勉強しました。一本釣りの竿の使い方として、手を置くテドコと竿尻の握り方、竿の向き、竿の用意と片付ける手順、を学びました。竿の向きはしなりやすい方を下に持ちます。竿を用意する手順は、チャンがけからバケを外し、竿を回し二丁竿を用意します。片付けの手順は、用意する手順の逆をします。しかし、糸を回すときに、きつく引っ張らないと竿同士が離れてしまい他の竿と絡まってしまうことがあるので、強く引っ張ることが大切だと学びました。竿を用意する時は早く用意しないとカツオが逃げってしまうので、できるだけ早く用意できるよう慣れていき、安全ベルトも忘れないうちにしようと思います。

2026年2月12日
一本釣りの竿の使い方、活餌管理

